

～かがり火が宵闇にゆらめく幽玄の世界～

第32回 相模原薪能を開催します

相模原の夏の風物詩、「相模原薪能」を8月15日(木)に開催します。

日本古来の伝統芸能である能楽を郷土「相模原」に定着させ、本市の文化の向上を図ることを目的として、毎年実施している催しです。

今回の公演では、宝生流第二十世宗家 宝生 和英(ほうしょう かずふさ)氏がシテ(物語の主演)を務める能「船弁慶(ふなべんけい)」などを上演します。

- 日時** 令和元年8月15日(木)
開場:午後5時50分 開演:午後6時30分(午後8時40分終演予定)
会場敷地内には、午後5時30分まで入場できません。
- 会場** 相模女子大学グラウンド 特設舞台(相模原市南区文京2-1-1)
悪天候時は、相模女子大学グリーンホール・大ホールにて実施します。
- 演能** 宝生流(ほうしょうりゅう)
- 演目** 仕舞「氷室(ひむろ)」
仕舞「杜若(かきつばた)」
狂言「口真似(くちまね)」
能「船弁慶(ふなべんけい)」
- 座席** 予約席(座席指定) 600席(500円)申込順
当日席(エリア内自由) 800席(入場無料)先着順 満席の場合は立ち見可
〔予約席の購入方法〕
7月21日(日)午前10時発売(発売初日は窓口での販売なし)
・チケット Move 042-742-9999
・チケットムーヴ.net (<http://move-ticket.pia.jp/>)
- 主催** 公益財団法人相模原市民文化財団、学校法人相模女子大学、相模原市

当日取材を希望する場合は、別紙「撮影・録音・録画 申請書」に必要事項をご記入いただき、開催前日までに、相模原市民文化財団にFAXで送付してください。

(FAX番号: 042-749-2772)

問合せ先
文化振興課
直通042-769-8202

<申請書式 B>

※主催者(能楽協会正会員及び正会員で構成される団体以外)、
撮影(録音)希望者、撮影(録音)した写真・音源・映像の利用者用

撮影・録音・録画 申請書

名刺添付欄

又は「申請者連絡先」欄に記入

- 本書式使用に関する遵守事項
- ・必ず公演前日迄に必要な事項を記入の上、関係者の署名を得ること。当日の出演者への署名依頼は禁止。
 - ・本書式に関する責任の所在は申請者にあるものとする。申請者が撮影(録音)者と異なる場合も、撮影(録音)者の責任は申請者にあるものとする。
 - ・書式の加工や改変等を行わないこととする。
 - ・記録・保存以外の目的で撮影(録音)する場合は、利用者の非営利(使用にあたって対価が発生しないもの)・営利を問わず、別途、覽書・契約書の締結を前提とする。
 - ・成果物の複製、転用、転載禁止。使用の際は必ず明記すること。
 - ・使用に際し、スペースのある限り、演目・流儀・演者名の順で、クレジット表記をすること。

①申請者 記入欄 *該当する口に✓

申請者名			
申請者連絡先	※名刺添付 又は以下に記入		
	会社名		部署・肩書
該当公演情報	連絡先		
	電話・E-mail		
該当公演情報 【注】チラシ又は当日プログラムを必ず添付。	年 月 日	公演名	
収録方法	<input type="checkbox"/> 写真撮影	<input type="checkbox"/> 映像撮影	<input type="checkbox"/> 録音のみ
使用目的 該当する目的全てに✓ 【注】本書式は、一次利用(右記に記入の目的)のみ使用可能。 ※右記以外の目的での使用(二次利用)が生じた場合は権利処理が必要。	<input type="checkbox"/> 公演主催者()の記録・保存及び、広報利用。		
	<input type="checkbox"/> 特定の能楽師(氏名:)の演能活動記録。 ※複数名いる場合は、全員の氏名を記入。		
	<input type="checkbox"/> 能楽データの保存・蓄積の為。		
	<input type="checkbox"/> 放送、雑誌掲載、展覧会掲示等 ※具体的に。 *別途契約締結を前提とする。		
	<input type="checkbox"/> その他 ※具体的に。		
撮影(録音)物の保管責任者			
インターネット配信 ※動画配信サイト、SNSへの掲載を含む。 (YouTube、Facebook、Twitter、Instagram等) 【注】「有」の場合は必ず遵守事項を守ること。	【遵守事項】 ●開示に際して ・閲覧者による転用、転載禁止を明記すること。 ・映像を使用する際は、30秒以内を目安とした部分利用に限り、転用、転載禁止を明示すること。 ・スペースのある限り、演目・流儀・演者名の順で、クレジット表記をすること。 ●本書式で定めるネット配信の範囲は、非営利目的利用(閲覧にあたって課金の生じないもの)に限り、営利目的利用の場合は別途権利処理(場合によっては契約書の締結)を必要とする。		
	<input type="checkbox"/> 有 掲載サイト名又はURL) <input type="checkbox"/> 無		
主催者の許諾 【注】必ず主催者の許諾を得ること。	<input type="checkbox"/> 上記事項は主催者: _____ の許諾済みである。 <input type="checkbox"/> 申請者が主催者である。		
出演者への周知方法 【注】必ず出演者へ周知すること。	<input type="checkbox"/> 事前周知(出演依頼状に記載、書面通知、口頭内諾等) <input type="checkbox"/> 当日周知(楽屋掲示等) ※原則、書面での事前周知を基本とし、当日周知(楽屋掲示等)も必ず行うこととする。		

撮影者記入欄	【撮影(録音)に関する遵守事項】 ・フラッシュの使用、公演中の客席内での移動、指定された場所以外での撮影は禁止とする。 ・主催者、会場、出演者の指示に従い、上演・観賞の妨げとならないよう留意すること。 ・本書式で申請された目的以外で写真を使用する際は、必ず権利処理を行うこと。 ・ガイドライン(別紙)を遵守のこと。		
	年 月 日	撮影者署名	_____

②担当出演者(能楽協会正会員) 記入欄

上記申請を許諾します。 _____ 年 月 日 署名: _____

■本書式のお取り扱い

本書式(チラシ又は当日プログラムの添付を含む)は申請者が保管し、能楽協会がコピーをお預かり致します。

※能楽協会への提出は、協会指定の書式回収窓口(指定能楽堂)、又は直接能楽協会宛に送付。

相模原、夏の風物詩。

木立に囲まれて灯るかがり火が、

宵闇にゆらめく

幽玄の世界をてらします。

第三十二回 相模原 新能

れきごのう

演能 宝生流

仕舞「氷室」

仕舞「杜若」

狂言「口真似」

能「船弁慶」

※演能前に能楽解説、火入れ式がございます。



8/15(木) 18:30開演 17:30開門/17:50開場/20:40終演予定

相模女子大学グラウンド・特設舞台

小田急線相模大野駅
北口徒歩10分

当日席 (800席)
無料(エリア内自由)

※整理券は配布しません。
直接会場にお越しください。

予約席 (600席)
座席指定 500円

※予約席のエリアは裏面をご覧ください。

発売日 7/21(日) 10:00~
(発売初日は電話予約・インターネット販売のみ)

チケットのお求め チケットMove ☎042-742-9999 (10:00~19:00)
チケットムーブ.net <http://move-ticket.pia.jp/>

※お一人様4枚までとさせていただきます。
※小学生以上要チケット(未就学児の膝上鑑賞無料、席が必要な場合は要チケット)。
※車椅子席は別途ご用意があります(無料、付添人お一人様まで同席可)。
※予約席のチケットは振替会場でも有効です(振替時の払い戻しはありません)。
※相模女子大学グラウンドでの開催時に急な悪天候等で中止になった場合でも、
仕舞「氷室」開始後は払い戻しできません。

第三十二回 相模原薪能 番組

令和元年八月十五日

挨拶

能楽解説 辰巳 満次郎

火入れ式

〔仕舞〕

氷室 藪 克徳

杜若 金野 泰大

〔狂言〕

口真似 山本 則俊

〔能〕

船弁慶 俊太朗
子方 藪 俊太朗
シテ 宝生 和英

ワキ 館田 善博
ワキケツレ 則久 英志
間 山本 則重
ワキケツレ 梅村 昌功

後見 和久 莊太郎
澤田 宏司

大鼓 柿原 孝則 太鼓 澤田 晃良
小鼓 飯富 孔明 笛 藤田 貴寛
上野 能寛 野 月 聡
金野 泰大 辰巳 満次郎
藪 克徳 山内 崇生
佐野 玄宜 高橋 憲正



あらすじ

狂言「口真似」

主人から酒の相手をする者を探して来いと命ぜられ、家来の太郎冠者が連れてきたのはとんでもない酒乱の人なので、困った主人はおだやかに引きとって貰おうと、太郎冠者に何でも自分のいう通り行動するようにいいかれます。太郎冠者はすべて主人の真似をすればよいと、いうことなすこと全くそのまま真似するので、怒った主人が太郎冠者を打つと、冠者は酒乱の客に向かって打ち倒してしまいます。

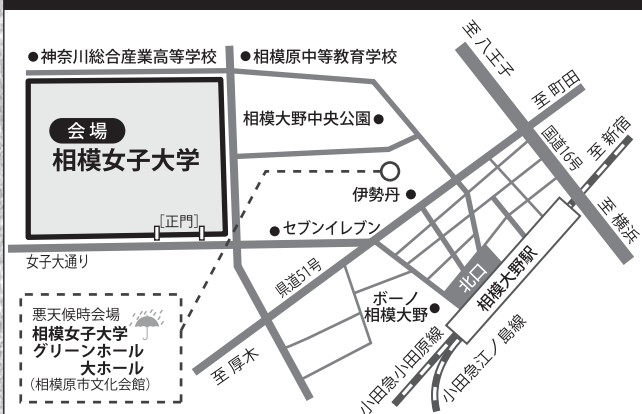
勘ちがいから生ずる滑稽味を描いた狂言。

能「船弁慶」

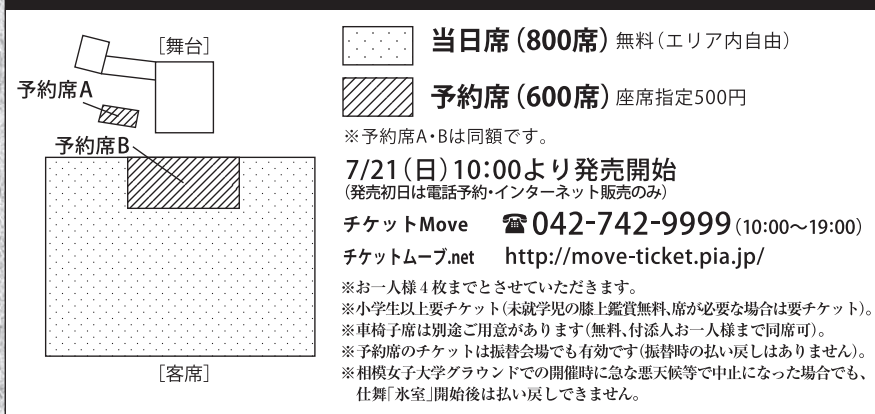
兄頼朝と不和になり、追討軍を差し向けられる悲運に陥った義経は、都落ちを決意して、弁慶以下十余人で人目を忍んで、摂津の国大物の浦に着きます。弁慶はかねて談合してあった船頭に舟を頼みますが、一行の中の静御前を都に帰すように計らい、静は泣く泣く同行をあきらめます。門出に近づき弁慶は白拍子の名手である静に舞を乞います。やがて義経一行の舟は静を残して出て行きます。

沖合いはるかに進んだ頃、黒雲が出たかと思うと、忽ち一転暗く波は大きく荒立ちます。すると西海に滅びた平家の一類と思しき人影が波間に浮かび、中にもおどろの髪を振り乱し甲冑を帯した平知盛の幽霊が、潮を蹴立てて近寄ります。義経は少しも騒がず応戦し、弁慶も調伏すれば、さしもの悪霊も恐れて遠ざかるところを、舟子どもはえいやえいやと漕ぎ急ぎ、危うく虎口を脱するのでした。

会場のご案内



座席のご案内



ご来場のお客様へ

- 悪天候時は相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)・大ホールにて実施します。実施会場の決定は当日の天候や会場状況により判断し、16:00までに当財団ホームページ等でお知らせします。
- 会場に専用駐車場はありません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
- 会場敷地内には17:30までご入場いただけません。会場前での開門待ちをご遠慮ください。
- 写真撮影・録音・録画は禁止です。
- アルコールの持ち込みはご遠慮ください。
- 相模女子大学グラウンドの会場では、軽食や飲み物等の物品販売があります。
- 正門周辺を含む会場敷地内はすべて禁煙です。
- ペット同伴の入場はご遠慮ください。但し、身体障がい者補助犬は一緒に入場できます。
- 満席の場合は立ち見となりますのでご了承ください。

お問合せ 公益財団法人 相模原市民文化財団 ☎042-749-2207

ホームページでも情報を配信しています。

公益財団法人相模原市民文化財団 検索

Twitter @Sagami_BUNKA